

1 山地災害危険地区に関する調査に基づく緊急度ランク付けについて

- (1) 各調査地区のランク付けは、下記の判断基準によりを4段階に分けている。
- (2) 災害時要援護者関連施設が保全対象地内に存在し、危険地区との関連性がある地区については、ランクアップしている。
 (※災害時要援護者関連施設については、危険地区との関連性がある場合は、点検点数が、B-1ランクの場合はAランクへ、B-2の場合はB-1へ昇格している。)
- (3) 治山事業計画を実施する場合は、緊急度の高いAランクから最優先とする。

緊急度ランクの判定基準		今後の事業計画
Aランク 緊急度 高	■調査地区の危険性が高い地区で、点検点数が60点以上が該当。 ■災害時要援護者関連施設との関連性があり、点検点数が51～60点が該当。	最優先
B-1ランク 緊急度 普～高	■調査地区の危険性がAランクに近い地区で、点検点数が51～60点が該当。 ■災害時要援護者関連施設との関連性があり、点検点数が41～50点が該当。	優先
B-2ランク 緊急度 普～低	■調査地区の危険性が中地区で、点検点数が41～50点以上が該当。 ■災害時要援護者関連施設との関連性がない地区。	継続調査
Cランク 緊急度 低	■調査地区の危険性が低い地区で、点検点数が40点以下が該当。 ■災害時要援護者関連施設との関連性がない地区。	定期点検